平成23年度事業報告

- 1. 日本農学賞、読売農学賞授与式の開催 東日本大震災の発生により平成23年4月5日開催予定の第82回日本農学大会は中止。 4月28日に東京大学弥生講堂において授与式、アブルボアにてミニ祝賀会を実施した。
- 2. 平成23年6月に「東日本大震災への取り組みに関するアンケート」を実施
- 3. 平成23年9月に「東日本大震災の復興に対する農学の役割」WGを立ち上げる。 11月17日に『東日本大震災からの農林水産業の復興へ向けて一被害の認識と理解、復興へのテクニカル リコメンデーションー』を発表した。
- 4. 平成 23 年度日本農学会シンポジウムの開催 平成 23 年度 10 月 8 日に統一テーマ「環境の保全と修復に貢献する農学研究」を東京大学弥生講 堂で開催し、8 件の講演を行った。
- 5. 平成 22 年度日本農学会シンポジウム成果概要書の出版 平成 23 年 4 月 5 日に「シリーズ 21 世紀の農学ー農林水産業を支える生物多様性の評価と課題ー」 を㈱養賢堂より出版した。
- 6. (財)農学会-平成23年度第10回日本農学進歩賞を共催
- 7. その他

平成23年度の会議内容は以下の通り。

会議名	開催日	主な議事
		1 1 2 2 2
評議員会	第1回 1月21日	1) 常任委員の交代について諮られ、承認された。
		2) 平成22年度事業報告、会員学会に対して実施したアンケート
		結果をもとに、① 日本農学賞は「個人」を対象に授与され
		るものである方針を維持すること、②法人化については、法
		人移行の意義、(財政面等での) 可能性を継続的に検討して
		行くとした常任委員会の方針について説明があり承認され
		た。平成 22 年度日本農学会シンポジウム報告ならびに成果
		概要を出版する件について報告があり、承認された。
		3) 平成22年度収支報告および監査報告があり、承認された。
		4) 平成23年度事業計画案および収支計画案が説明され、承認さ
		れた。大熊会長より、財団法人農学会への事務委託契約につ
		いて、経緯を含めて説明があり、事務委託契約の締結、同契
		約書文案が承認された。なお、事務委託契約の調印は、3月
		23 日に開催される(財)農学会理事会の議を経て、3月末に
		行われる。本事務委託は4月1日からの予定である。
		5) 日本ペット栄養学会の退会が承認された。
		日本フードシステム学会の入会が承認された。
		6) 日本畜産学会からの要望書提出を受けて行われたアンケ
		ートに関して発言があり、意見交換が行われた。
		7) 日本農学賞の選考を行い、8 名の授賞を決定した。併せて読
		売農学賞に推薦することが決定された。

	I	
運営委員会	第1回 3月3日	 今期新役員・常任委員の紹介があり了承された。 評議員会の議事内容が報告された。 日本農学大会および日本農学会シンポジウムの準備状況について報告があった。日本農学大会は会場が変更、弥生講堂で開催の旨改めて報告があった。 出版関連準備状況が報告された。 平成24年度シンポジウムについて説明があった。3月末にテーマの募集依頼をすることに関して説明があった。 (財)農学会への事務委託は4月1日から契約となる報告と契約にいたるまでの経過説明があった。
	第2回 9月9日	1) 平成23年度(第82回)日本農学賞授与式の報告 東日本大震災により今回は授与式のみ行った経緯と報告があった。 2) 平成23年度日本農学会シンポジウムの準備状況の報告があった。 3) 平成24年度日本農学賞受賞候補業績の推薦並びに平成24年度日本農学会評議員会について説明があった。 4) 平成24年度常任委員担当学会について説明があった。 5) 東日本大震災への取り組みに関するアンケートの報告 6) 東日本大震災に関する日本農学会の活動について下記の3つの活動が了承された。 1.ホームページを活用した情報交換の促進(担当 西山)2.日本農学会シンポジウムの企画 (担当 立石)3.ワーキングの設置(座長 三輪副会長 担当 山内) 7) 平成24年度シンポジウムテーマについて平成24年度のシンポジウムテーマについて平成24年度のシンポジウムテーマを「東日本大震災からの農林水産業の復興に向けて」(仮題)として準備を進めていきたいとの提案があり了承された。
	第3回 12月8日	1) 平成 23 年度事業報告案および平成 24 年度事業計画案について説明あり了承された。 2) 平成 23 年度収支決算報告案および平成 24 年度収支予算案について説明があり了承された。 3) 平成 24 年度シンポジウム実施計画案について説明があり了承された。 4) 平成 24 年度評議員会議題提案について説明があり了承された。 5) 平成 24 年度日本農学賞候補業績の発表順が抽選で決定された。 6) 常任委員の交代説明があり了承された。 7) その他 「東日本大震災の復興に対する農学の役割」WGについてと東日本大震災からの農林水産業の復興へ向けて一被害の認識と理解、復興へのテクニカルリコメンデーションー』公表についての報告があった。

常任委員会	第1回 3月3日	1) 日本農学大会の準備および当日の進行について協議した。 2) 第1回運営委員会議題について協議した。 3) 第2回企画委員会議題について協議した。
	臨時常任委員会 8月30日	 東日本大震災アンケート結果をもとに日本農学会の今後の活動について協議した。 来年度のシンポジウムテーマについて検討した。 一般社団法人移行の意義、移行の可能性等について検討した。
	第2回 9月9日	 第2回運営委員会議題について協議した。 第3回企画委員会議題について協議した。 日本農学会の今後の活動について協議した。
	第3回 12月8日	 第3回運営委員会議題について協議した。 平成24年度日本農学会シンポジウムテーマについて協議した。 その他東日本大震災からの農林水産業の復興へ向けて一被害の認識と理解、復興へのテクニカルリコメンデーションー』公表について報告。
平成23年度企画委員会	第2回 3月3日 第3回 9月9日	 シンポジウムの全体構成について協議した。 広報活動について、協議した。 成果概要出版について協議した。 タイムテーブル案について協議した。 ポスターの配布先および情報公開について協議した。 成果概要出版について協議した。
平成 24 企画 準備委員会	11月9日	 シンポジウム日時、対象者、テーマについて協議した。 平成24年度企画委員メンバーについて協議した。
平成24年度企画委員会	第1回 12月8日	 平成24年度企画委員会の発足(メンバー)の確認した。 シンポジウムテーマについて協議した。 全体構成について協議した。